



ホ ホップは遠野の気候に適合していると言われている。天候に左右されやすい作物。今年6月頃からの成長が止まらずに、収量が伸びなかった。香りの面でも今年は大丈夫かなと思っていました。キリンビールから褒めてもらえた。組合員に安心して報告できるなと思っています。市内で行うのは収穫後、乾燥まで。おかげさまでふるさと納税

キ ビールは原料となるモルト(大麦)やホップ、水が重要な要素。特にホップは当社として重要な位置づけ。何度も現地へ足を運び、各農家と作柄の状況、品質を確認しています。一番搾りとれたてホップ生ビールには、遠野産ホップを凍結させてビールに使用。そのこだわりは、遠野の畑でとれたそのままの香りやおいしさを工場まで運ぶことです。おいしさをそのままビールに生かして醸造させる。ビール屋として、最高の原料でうまいビール造りをできることが一番の醍醐味だと考えています。



市 まちづくりの取り組みも遠野ホップ収穫祭は特にすこい。キリンビール、ホップ農協、市内事業者など全員が本気で取り組んでいる。だからこそ、ビールを求めてファンが来てくれる。「誰かがやってくれるだろう」という思いではなく、みんなで行っている。手応え十二分です。行政も次の目標に向かって応えていきたい。ホップ、ステップ、ジャンプです。

キ 遠野のホップはやっぱり香り。かんきつ系でフルーティな香りが穏やか。質の良さが社内でも好評です。以前、ホップなどの原料を確保する調達部という部署にいました。そこで日本産ホップを担当しましたが、国内ホップの生産量が少なくなっている現状を知りました。それは外国産ホップが安いからビールの価格を抑えようという動き。でも私は日本産ホップの香りはどこにも負けない。そう思っていました。実はホップ農協に出向き、膝を突き合わせてどうやったら栽培を続けられるか相談しに行ったことがあります。それは、遠野のホップ

ホ そういうこともありまして、本産ホップについてどう考えているのか。生産者はみな高齢で仕事をやめていく。ホップの買い取り価格を上げてもらうだけの問題じゃない。でもそこが転換期でした。就農フェアや地域おこし協力隊で市外から若い人が就農してくれた。それにはキリンビールも協力してくれた。まだまだ遠野はやる。そんな思いです。

市 思いをぶつけあって頑張ったからこそ今の遠野を支える基盤になっていると思います。ホップの買い取り価格が安定しているのは、就農者にとってメリット。ただ、根本的な部分はそれだけじゃないことが分かりました。頑張る人たちに応援するのが私の役目。遠野は「ビールの里」構想を打ち出しています。そのためには収量を上げることもですが、生産者が働きやすい環境を整えること。「ビールの里」に近づくにはあと何



ホ 自分事として考えると7歳の時からホップを栽培。60年とはいえ、農家としては60回しかやっていない、いつも一年生という気持ちでやってきました。天候によって豊作の年もあれば不作の年も。台風の影響で三年連続で収穫量がゼロのこともありましたが。そんな時でもキリンビールには助けられました。今後もキリンビールとタッグを組んで取り組んでいきたいと思っています。

市 言葉をよく聞きますが続けるという事は簡単ではない。一年一年の積み重ねがあつての今年だと思っています。先人に感謝し、遠野をフィールドに選んでくれたキリンビールに感謝し、次の一年を取り組みたいと思います。その小さな積み重ねを続けて遠野が幸



写真 9月19日(火)、キリンビール仙台工場にて

遠野の地から 日本産ホップを盛り上げる

一番搾りとれたてホップ生ビール発売20年目を迎えた今年、ホップ栽培60年、キリンビール仙台工場操業100周年を迎えました。それぞれの立場からホップにかける思いを聞きました

※本文内は、末武工場長を「キ」、安部組合長を「ホ」、多田市長を「市」と表記し、敬称略

キ 100年途絶えることなくここまで来られたのはビールを愛し、飲んでくださる人がいたからこそ。それと同時にビールの原料となるホップを生産してくださる人がいるから、ここまでビール造りをする事ができました。これは、遠野市やホップ農協の支援があつてできたこと。従業員一同感謝し、そしてもう一度、キリンビールとして「おいしいものを作ることが使命」だと改めてビジョンを明確に持つきっかけになりました。

ホ 自分事として考えると7歳の時からホップを栽培。60年とはいえ、農家としては60回しかやっていない、いつも一年生という気持ちでやってきました。天候によって豊作の年もあれば不作の年も。台風の影響で三年連続で収穫量がゼロのこともありましたが。そんな時でもキリンビールには助けられました。今後もキリンビールとタッグを組んで取り組んでいきたいと思っています。

市 言葉をよく聞きますが続けるという事は簡単ではない。一年一年の積み重ねがあつての今年だと思っています。先人に感謝し、遠野をフィールドに選んでくれたキリンビールに感謝し、次の一年を取り組みたいと思います。その小さな積み重ねを続けて遠野が幸